

一般質問通告書

平成24年9月定例会

1番 江本郁夫 議員

1 姉妹都市との交流の深化について

秩父市、モートンベイ市の姉妹都市との交流に新たな動きが見られない。人の交流、物の交流の視点でもっと活発な交流促進が望まれる。この点について行政としての考えを聞きたい。

2 太陽光発電の促進について

再生可能エネルギーの固定価格買取制度が導入された。特に太陽光発電について、遊休地等公共財産を活用し導入を行政として模索すべきではないかと考えるが、この点についての考えを聞きたい。

3 合併特例債活用期間延長について

合併特例債活用期間5年の延長が決まった。特に防災対策の強化の必要から延長されたとのことだが、このことによって既存の計画にどのような影響があるのか。また、今後新たな展開をも考えていくのかについてお聞きする。

2番 下瀬俊夫 議員

1 ルネサスのリストラ計画について問う。

(1) ルネサスの企業売却・閉鎖計画について、本市としてどう対応するのか。

(2) 市内在住の労働者への失業対策事業をどう考えているか。

(3) 企業誘致を柱とした産業振興策の見直しが求められているのではないのか。

2 生活保護行政について問う。

(1) 一部タレントの家族の生活保護受給問題に端を発した異常な「生保バッシング」が起きている現状をどう考えるか。

(2) 扶養義務は生活保護受給取得の条件なのか。

(3) 不正受給とは何か。

(4) 「求職者支援制度」と生活保護受給者とのかかわりについて問う。

3 議員定数削減問題について問う。

(1) 大阪、名古屋、防府など、首長主導による「議員定数削減」の提起を

どう考えているか。

- (2) 二代表制のもとで、議会のあり方や議員定数問題についてどう考えるか。

3番 硯谷 篤史 議員

1 教育委員会の政策提案のあり方について

- (1) 給食（センター）の整備計画について
今後の方向について聞く。
- (2) 埴生地区学校再編計画について
今後の方向について聞く。

4番 吉永 美子 議員

1 安心・安全なまちづくりについて

- (1) バリアフリー基本構想の策定について
昨年3月質問したが、その後の進捗状況を聞く。
 - (2) 市の「防災を考える日」の設定について
3月11日について、東日本大震災が残した大きな教訓を生かし、被災地へ思いを寄せる日として、市独自の「防災を考える日」を設定できないか。
 - (3) 自主防災組織のネットワークづくりについて
その核となる防災士を育成し、活用すべきではないか。
 - (4) 児童・生徒への防災教育について
強化するための取り組みについて聞く。
 - (5) 医療情報キットについて
昨年9月提案した医療情報キットの配布について、活用のための取り組みを聞く。
 - (6) 通学路の安全対策について
合同総点検を終え、今後の対策法を聞く。
- #### 2 文化振興について
- (1) 子ども文化ふれあい事業について
今後の予定について聞く。
 - (2) 文化振興のための条例制定について
策定したビジョンを進めるため、条例を制定すべきではないか。
- #### 3 市内業者優先について
- 今後の強化予定について聞く。

5番 岩本信子 議員

1 学校給食について現状と課題

- (1) 給食調理場のドライ運用について
- (2) 米飯給食促進の障害について
- (3) 食器変更について
- (4) 統一献立の考えはどうか。
- (5) アレルギー対応について
- (6) 学校給食調理体制の教育指導について
- (7) 献立作成委員会や食品選定委員会について
- (8) 市の支出する給食予算について
- (9) 給食調理員の研修と配置について
- (10) 教育委員会会議「学校給食における食中毒発生状況調べ」資料について
- (11) 山陽地区親子方式について

6番 中島好人 議員

1 中小企業振興について

- (1) 住宅リフォーム助成制度について
- (2) 中小企業振興基本条例の制定について
- (3) 公契約条例の制定について

2 嘱託、臨時職員の待遇改善について

- (1) 賃金等の処遇について
- (2) 正規職員への登用について
- (3) 保育士の待遇について

3 住宅政策について

- (1) 公営住宅の位置づけ
- (2) 補修修繕について

7番 大井淳一郎 議員

1 予算編成について

- (1) 当市における予算編成過程の現状について
- (2) 予算編成過程の公開について
- (3) 枠配分方式の評価と課題について

2 新学習指導要領の取り組みについて

- (1) 武道の必修化について
- (2) くすり教育について

(3) 法教育について

3 事務量調査と事務の効率化について

(1) 事務量調査の進捗状況について

(2) 事務の効率化の取り組みについて

(3) アウトソーシングの可能性について

8番 伊藤 実 議員

1 市民病院の役割について

(1) 地域医療の充実について

(2) 救急医療の充実について

(3) 危機管理について

2 新病院建設の進捗状況と課題について

(1) 現況、何か課題はあるのか。

(2) 消費税増税の収支計画への影響額は。

3 教育委員会について

(1) 教育委員会のあり方について検証は行っているのか。行っていればその是非について聞く。

(2) 教育行政の10年後のビジョンについて聞く。

9番 河崎 平 男 議員

1 森林整備計画について

(1) 植林から利用計画について

(2) 木材活用について

2 道の駅建設計画について

(1) 今後の計画について

3 文化振興について

(1) ビジョンの進捗状況について

(2) 文化財の保護普及について

(3) 専門職員の登用（任用）について

4 公共施設再編計画と埴生小中の施設一体型小中連携校について

(1) 地域交流拠点としてのまちづくりについて

(2) 埴生小中連携校計画のタイムスケジュールについて

10番 山田 伸 幸 議員

1 財政の長期的見通しについて

(1) 2015年度以降の合併算定がえ、地方交付税の一本算定の影響額を

どのように見通しているのか。

(2) 現在の財政計画は市民病院や山陽地区公共施設再編、ごみ焼却場などにどのように反映されているのか。

2 社会保障制度の改悪が進められようとしているもとで国保制度のあり方と市長の取り組み姿勢について

(1) 国保制度の現状と問題点が広域化で解決するのか。

(2) 市民の命と暮らしを守る国保制度確立について、市長の取り組みはどのような方針で臨もうとしているのか。

3 教育委員会のあり方が問われているもとの市教委の現状と認識について

(1) 学校給食センター化問題への教育委員会会議での議論とその後の対応について

(2) 市長部局の対応について

(3) いじめ・不登校問題についての教育委員会会議での議論について

1 1 番 衛 藤 弘 光 議員

1 白井市政について

(1) 市長は、新市誕生以来二期7年余りにわたって市政に全力投球を続けてこられました。今の時点でどのように評価されていますか。達成感をお持ちの点、いまだなし得ていないとお考えの点を伺いたいと思います。

(2) 市長の政治理念である「市民が主役のまちづくり」を今後さらに前進させるために、続投をお考えなのか、それとも引き継ぐ方がおられますか。

2 再生可能エネルギーの利用について

(1) 国は再生エネルギーの活用を推進しているが、本市においても、竜王山配水池と山陽に新設する配水池及び厚狭川の寝太郎堰に水車型の発電機の設置する等の考えはないのですか。また、これに関して山口東京理科大との連携に関する協定書第2条にある連携・協力事項の活用ができないのですか。

3 災害時の避難場所について

(1) 65カ所の避難場所の海拔を把握されていますか。

(2) 小野田地区に広域避難場所3カ所が設定されているが、山陽地区には設定されていないがなぜですか。

(3) 須恵公園の広域避難場所は埋立地ですので見直しが必要と思うのですがどうですか。

- (4) 避難場所を示す掲示板が 60 cm×60 cmと小さく色も目立ちません。わかりやすい掲示板にできませんか。

1 2 番 大 空 軍 治 議員

1 山陽小野田市民まつりについて

- (1) 本年度のまつりの企画等について
- (2) 主会場の変更理由等について
- (3) まつりの継続性について

2 通称 横土手線の整備について

- (1) 有帆川堤防右岸線と県道妻崎開作小野田線の区分と整備状況について
- (2) 新生町から横土手につながっている仮設道路の今後の整備について

3 民生委員について

- (1) 民生委員の市民への周知について
- (2) 主任児童民生委員について
- (3) 望ましい民生委員像とは。

4 浜河内緑地公園のトイレについて

- (1) 水洗化の状況について
- (2) 竜王山公園のトイレの状況について

5 公民館のあり方について

- (1) 役割と活動状況について
- (2) 委託館に移行し、運営にばらつきがあるように見て取れるが。
- (3) 福祉会館との併設館があるが、役割分担について
- (4) 若手職員の配置について

1 3 番 平 原 廉 清 議員

1 合併特例債期限延長法の成立に伴い当市の新市まちづくり計画は全面的に見直されることになるのか。

2 学校給食について

- (1) 合併特例債の使用期限延長は調理場建設計画に影響があるのか。
- (2) 文科省の「学校給食管理基準」は教委にとりどのような重みがあるのか。
- (3) この基準には「ドライシステムを導入するよう努めること」等の努力義務が多く規定されている。これら「努めること」の解釈及び意義について、一般論としての市長の見解をお尋ねする。
- (4) 当市の学校をめぐる給食問題をはじめ各種の事業において「カネの事を言うてはいけない」という意見があるが、それに対する教育長の見解

を聞きたい。

- (5) 最近教委では、「共同調理場は2カ所」という意見が有力になりつつあるように見受けられ、その主たる理由は「安全弁」説がほとんどであるが、その他の大きなメリットはないのか。

14番 河野 朋子 議員

1 職員のモチベーション向上について

(1) 職員提案制度の活用について

- ア 23年度の実績はどうか。
- イ 現状についてどう分析しているのか。
- ウ ふやすための方策はあるのか。

(2) 職員のモチベーション向上のため本市独自の取り組みはあるのか。

2 給食センター建設について

(1) 進捗状況について

- ア 9月に議案提出がされない理由
- イ 今後の予定について

(2) 市民への説明責任について

- ア パブリックコメントに対する回答は。
- イ 公開質問状に対する回答は。